

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
1						電子カルテシステム	
1	11					バイタル連携	
1	11	1				NFCバイタル連携	
1	11	1	1			以下の前提条件を満たしていることとする。 ・連携対象の機器は、NFC連携機能を有すること。 ・連携する機器のメーカーは問わないこと。	○
1	11	1	2			これからバイタル測定値を読み込む患者を検索できること。	○
1	11	1	3			患者の検索は、患者バーコード読み込みによる患者ID検索が可能であること。	○
1	11	1	4			検索した患者の「患者ID」、「氏名」、「性別」、「年齢」が表示できること。	○
1	11	1	5			カルテを開いている患者の測定値を読み込む場合、患者の検索を省略できること。	○
1	11	1	6			NFC通信機能付き測定機器と非接触型リーダを通してバイタル測定値をシステムに反映できること。	○
1	11	1	7			NFC通信機能付き測定機器からバイタル測定値を読み込む画面インターフェースが用意されていること。	○
1	11	1	8			バイタル測定値を読み込む画面インターフェースは、電子カルテの各種メニューより起動できること。	○
1	11	1	9			バイタル測定値を読み込む画面インターフェースは、電子カルテの経過表より起動できること。	○
1	11	1	10			読み取ったバイタル測定値は画面上に表示され、数値を確認した上で確定できること。	○
1	11	1	11			読み取った測定時刻が反映されること。	○
1	11	1	12			読み取った測定時刻時刻を基に、測定した時刻を変更できること。	○
1	11	1	13			複数種類の測定機器と連携する場合、連続して非接触型リーダを通して読み込むことで、体温・血圧・酸素飽和度・血糖値の機器を識別して値を反映できること。	○
1	11	1	14			あらかじめ設定された上下限値を超えた値が取り込まれた場合、上下限値を超えた旨を通知するメッセージが表示されること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
1	11	1	15			測定機器から読み取ったバイタル測定値は、経過表へ表示されること。	○
1	11	1	16			血糖値測定において、測定した時間帯によって、経過表に反映する測定区分（朝食前など）が自動選択されること。また、手動でも変更できること。	
1	11	1	17			すでに専用画面に読み込み済みの測定区分の測定値を再度読み込んだ時に上書き確認のメッセージが表示されること。	
1	11	1	18			測定器より測定値を専用画面に読み込み、経過表へ反映せずに閉じようとしたときに未反映の確認メッセージが表示されること。	